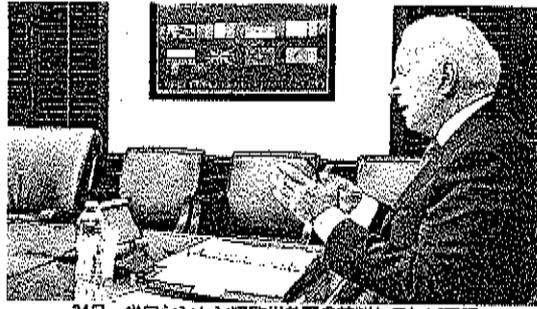


# 米 軍 8500 人の派遣準備

【ワシントン17日路透電】ロシアがウクライナ周辺に十万人規模の軍部隊を集中させている問題で、米国防総省は二十四日、八千五百人規模の軍部隊に対し、欧州への派遣に備えて待機するよう命じた。北大西洋条約機構（NATO）軍の即応部隊に加わる。バイデン米大統領は欧米同盟は同日のオンライン協議で外交努力を続ける方針で一致したものの、軍事衝突の懸念が高まっている。

## 外交努力を継続



24日、米ワシントンで欧州各国の首脳とテレビ電話で会議をするバイデン米大統領＝ロイター・共同

国防総省のカービー報道官は、NATOが即応部隊を立ち上げていないため派遣の最終決定はなっていないと述べ、ロシアに「今更だにロシアに兵隊を継続するつもりがない」と指摘。NATOは東欧への戦闘機増派など態勢強化を踏まえ、ロシアに足並みをそろえさせることが「米軍が同盟国を守るための条約義務をいかに真摯に守っているかを証明する」と説明した。

NATO軍の即応部隊は複数国の軍で構成する約四万人。カービー氏によると、米軍の待機命令の対象は在米の戦闘機や医療、偵察、後方支援などの部隊で、ウクライナはNATO非加盟のため周辺国に配備

される見通しという。ウクライナに対しては、弾薬や武器の供与を間接的な支援を始めています。

一方バイデン氏は同日、欧州連合（EU）のジャン・クロード・ユンケル欧州委員長やジョンソン英首相、マクロン仏大統領ら欧米同盟・地域の首脳とオンラインで対談を協議。ホワイトハウスによると、引き続き外交に力を入れる方針を強調する姿勢を示している。

# ウクライナ緊迫

## ロシア バルト艦隊20隻出港

【キシニョフ（モルドバ）17日小柳悠志】ロシア艦隊は二十四日、同国西部を拠点とするバルト艦隊の艦船二十隻が演習のために出港したと発表された。今月から三月にかけて艦船四十隻と兵士二万人が参加する「金剛隊動員の大演習」をロシア近海や太平洋などを実施することを発表している。その一

環と見られる。ウクライナ情勢が緊迫する中、北大西洋条約機構（NATO）をけん制する狙いがある。ロシア外務省は二十一日、NATOに対して東欧のルーマニアとブルガリアから兵力を撤退させるよう要求。一部の欧米メディアはロシア軍が東欧の旧ソ連モルドバに駐留させている

兵力を利用し、ウクライナ南部の補給オアシスに上陸するとの見方を報じている。

一方、ウクライナのゼレンスキー大統領は二十四日、ロシアからの軍事圧力が強まっていると述べ、パニックに陥る要因はないと述べ、国民に冷静さを保つよう呼び掛けた。

ゼレンスキー氏は、東部地域でくすぶるロシア派武装勢力との紛争は落ち着いており、国内のエネルギー供給も安定していると説明した。政府はこれに先立ち、国家安全保障会議を再開。国境付近のロシア軍の状況や、米欧から届いた軍事支援物資の配給などを確認したとみられる。

【パリ17日路透電】フランス大統領府は二十四日、緊迫したウクライナ情勢の改善に向けて、仏独とロシア、ウクライナの四方関係による商談を二十六日にパリで開くことを明らかにした。

大統領府はマクロン大統領が近日中にロシアのプー

チン大統領と電話会談し「緊密な協和に向けた道筋を提示する」とも述べた。「フルマニヤン形式」と呼ばれる四方関係はロシアに有利なウクライナ併合後の二〇一五年、マタラス大統領との紛争解決のために設置されたが、最近はその機能が中断していた。

## パリで4カ国協議へ

## EU 制裁方針示し警告



24日、ブリュッセルで取材に応じたEU委員長フォン・デア・レーエ

【パリ17日路透電】欧州連合（EU）は二十四日、ブリュッセルで外相理事会を開き、テレビ会議方式で参加したフリンケン米國務卿やウクライナ情勢を協議した。ロシアが侵攻した場合に「深刻な代償を伴う」として大規模な制裁を発動する方針を改めて示し、警告した。

## 外交官家族の「国外退避」はせず

一方、終了後に記者会見したEUのポレル外交安全保障上級代表は、ウクライナに駐在する外交官の家族らに国外退避を命じた米欧や英国の対応を上回ることは適任しない考えを明らかにした。

ポレル氏は「フリンケン氏から得た情報に基づいても、われわれはそうした予防的措置は必要ないと判断した」と述べた上で「ただちにロシアの攻撃があるとの恐れを抱かせる新たな要素は伺わない。神経過敏に陥るべきではないと指摘した。

EU欧州委員会は二十四日、ウクライナに計十二億ユーロ（約千五百五十億円）を資金援助する方針を発表。フリンケン氏は「米欧はウクライナに独立した国策で、EUでもこれに『足並みを揃えた』」と、支援を約束した。